

+++++
「植物と人々の博物館メールマガジン」 第57号 2019年7月28日発行
+++++

今年は、気象がとても不安定で大変な年のようで、作物への病害虫が多く、野生獣の食害も各地で頻発しています。山に食べ物が少ないのか、小菅の雑穀見本園も、引き続きイノシシが荒らしまわり、サルやキジバト、カラスが食い散らかしに来ています。ジャガイモ、サツマイモに続いて、借金なし大豆、ニンジン、何もかも喰い尽くされています。ナス科トマト、トウガラシ、ナスも病虫害と寒さでほとんど生長していません。ウリ科カボチャ、キュウリ、ズッキーニが何とか頑張っているだけです。弱気になって、いよいよ百姓をあきらめて、耕作放棄に追い込まれるのかと、つい思ってしまいます。

植物腊葉標本その他、写真スライドなど、図書を整理しています。これらを利用していただけるとうれしいです。会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は会誌「ナマステ」季刊でお知らせしています。

友の会会員になっていただければうれしいです。また、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人にぜひ広く転送伝達していただけるとありがたいです。

○報告

1. 伊豆半島を半周してきました。

50年前に訪問した県立有用植物園は南伊豆熱帯公園になっていました。その後、古里和夫園長が興農学園（日本村塾教育）の校長を、敗戦後に大谷英一校長の跡を継いでなさっていたことを知り、もう一度、伊豆に行くことにして、興農学園農場跡地の碑を見に行きました。第2次世界大戦前後の学園の事績に興味を持ち、さらに、文献を国会図書館に求めて歴史を探してみたら、この学園はデンマークの国民高等学校の流れを受けて、内村鑑三や新渡戸稲造らが協力して設立したことがわかりました。詳細は、ナマステ次号の「冒険探検粉塵記第17話」と下記ホームページのエッセイに書きました。

2. パーマカルチャーセンターからのご依頼で、7月13日にアドバンスド・コースで「地域と雑穀」についてお話ししました。

受講者5名の他、設楽さんほかにも聴講くださり、雑穀と地域おこしについて多くのご質問を頂きました。

3. 雑穀街道と FAO 世界農業遺産

相模原市緑区では雑穀街道を世界農業遺産に申請する方向で、4年間の普及啓発計画を立てていただきました。雑穀街道普及会はさらに雑穀栽培者と賛同者を増やすように、再度、日本村塾（民族植物学・自給農耕ゼミ）の活動を活発にして、雑穀街道地域における在来作物の普及・啓発に協力したいと思いません。雑穀街道普及会にご参加くださり、ご協力をお願いします。

雑穀街道に関する趣旨説明や植物と人々に関する自然誌・文化誌の講義など、博物館担当研究員が無償出張で行いますので、ご連絡ください。

4. 訃報 東原昌郎さん（東京学芸大学名誉教授）

東原先生は野外活動の専門家で、自然文化誌研究会の実技や理論指導にもご助力をいただきました。とりわけ、大滝村での冒険学校や研修会にご援助くださいました。深く感謝するとともに、心よりご冥福を願います。

○予定

1. 植物と人々の博物館

1) 開館・作業予定日：2019年8月5日ほかの予定です。植物と人々の博物館／森とむらの図書室では、順次、図書・植物標本・資料や民具の展示解説をしています。ご利用くださるとともに、作業にご協力いただきたく、よろしくお願いします。ご利用や協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、上記以外でも日程調整します。場所は小菅村井狩集落バス停近く、細川邸の前、道の駅臨時駐車場の坂を下ってすぐです。細川邸は旅館として営業を始めたようです。

森とむらの図書室（小菅と藤野）では順次資料の整理をし、蔵書リストはホームページで公開しますので、ご利用ください。なお、藤野分室の在り方については、いく人かの方にご相談しています。

2) 極小展示（準備中）：ヨーロッパの観光旅行で集めた小物工芸品

2. 日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば日時・場所・話題などを調整して、読書会を開催します。特に、家族農業（小規模・家族農業ネットワーク・ジャパン）について学びたいです。このネットワークには個人で賛同し、ホームページに意見を掲載していただきました。

<https://www.sffnj.net/single-post/2019/05/01/voice-mikio-kimata>

3. 雑穀街道と FAO 世界農業遺産

FAO 世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を広く募っています。申請に向けて賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。FAO 世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いいたします。

下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。

世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で閲覧していただけます。

ご確認の上で、賛同の意思表示をお寄せいただければうれしいです。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』第 3 章関東地方・第 4 章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millet/sn/jnmpilvil.html>

4. 民族植物学ノオトは次の第 13 号からは電子出版のみにする予定ですが、いつでもご寄稿を歓迎します。

これまでのすべての記事 pdf は植物と人々の博物館ホームページ（ミュージアムグッズ）で読めます。国会図書館にも全号所蔵されています。さらに国会図書館のオンライン資料に URL を登録します。

バックナンバーは僅少ですが、希望者に差し上げます。メールマガジンもすべて記録してあります。会誌ナマステは自然文化誌研究会のホームページで読めます。

5. 『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』は民族・信仰について学びながら、南アジアについて、個人の現地調査の体験をまじえ、自由に書いています。「第 10 章バングラデシュとスリランカ」を公開しました。

次は、アッサム・エリアについてまとめています。『日本雑穀のむら』は第 5 章中部地方の雑穀文化複合、補論 3 副食主菜の起源を検討しています。『第四紀植物』および“Essentials of Ethobotany”はまだ非公開ですが、書き進めています。これらは、下記の雑穀・民族植物学関係個人ホームページで読めます。

『環境学習原論—人世の核心』（2019）は是非一読いただきたいです。いずれ国会図書館のデジタルに登録します。

引用してくださる場合は、順次必要に応じて改訂していきますが、とりあえず「木俣（2019）」としてくださるようお願いいたします。

○ お知らせ

1. 環境文明 21 憲法部会シンポジウム予定 9月26日

話題：原子力発電について

~~~~~  
自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

雑穀・民族植物学関係の個人 HP:生き物の文明への黙示録

<http://www.milletimplic.net/>  
~~~~~

木俣美樹男 Mikio KIMATA kibi20kijin@yahoo.co.jp

植物と人々の博物館／日本村塾 研究員塾生

Nihonmura College for Environmental Studies, Plants and People Museum

公式 HP: <http://www.ppmusee.org>

個人 HP: <http://www.milletimplic.net>